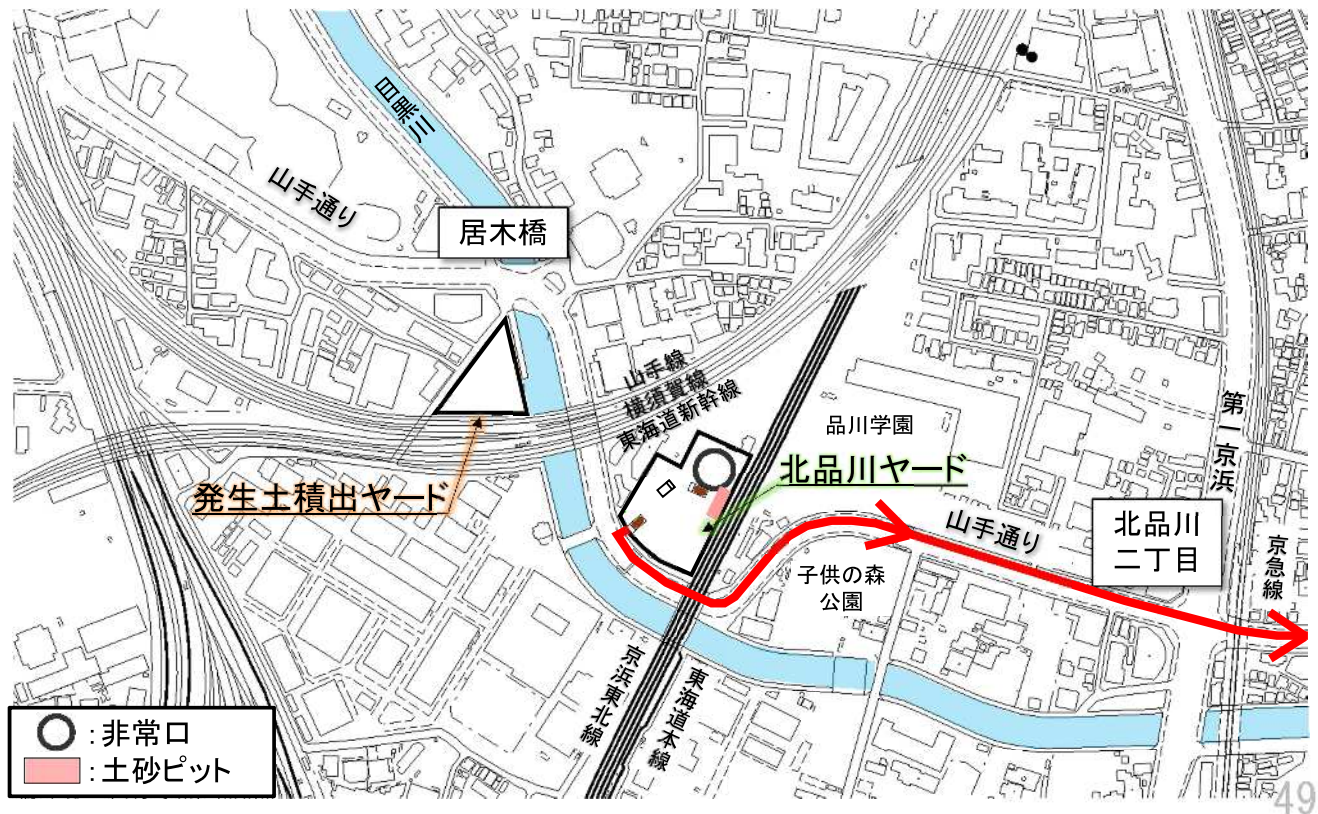


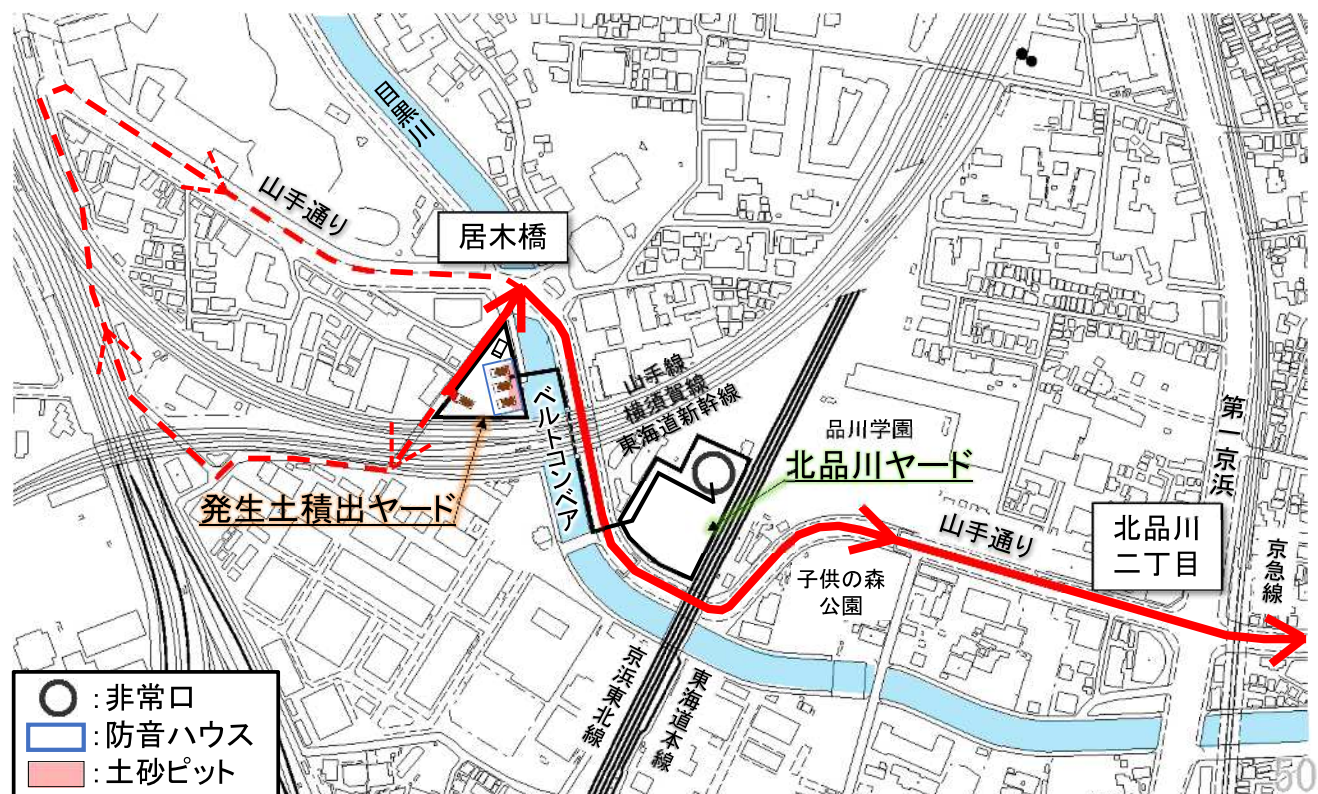
発生土運搬車両の運行ルート(北品川ヤードからの搬出)

- ・調査掘進時の発生土は、北品川ヤードから搬出します。



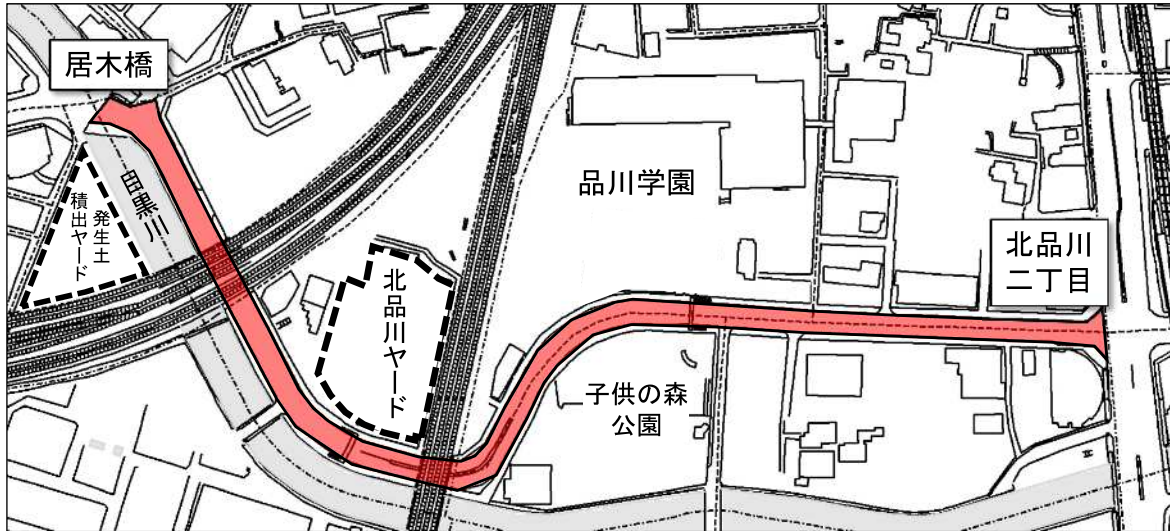
発生土運搬車両の運行ルート(発生土積出ヤードからの搬出)

- ・調査掘進から後の発生土は、発生土積出ヤードから搬出します。
- ・交通渋滞回避のため、発生土積出ヤード・居木橋交差点間は2ルート設定します。



北品川非常口の工事用車両運行時の安全対策

- 朝7:30～8:30の通学時間帯は、児童等の安全の確保のため、山手通りの下図に示す区間には工事用車両※を走らせません。
※ 普通自動車免許で運転できる車両や作業者の通勤用車両は、通行する場合があります。



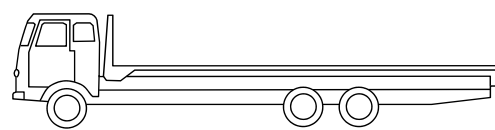
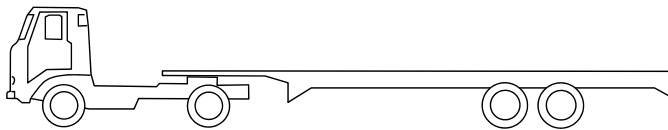
51

東雪谷非常口の工事用車両の運行計画

運行する主な工事用車両

トレーラー(到達設備等の運搬)

トラック(資機材の運搬)



運行時間帯

・8:00～18:00

(一部、上記以外の時間帯の運行あり)

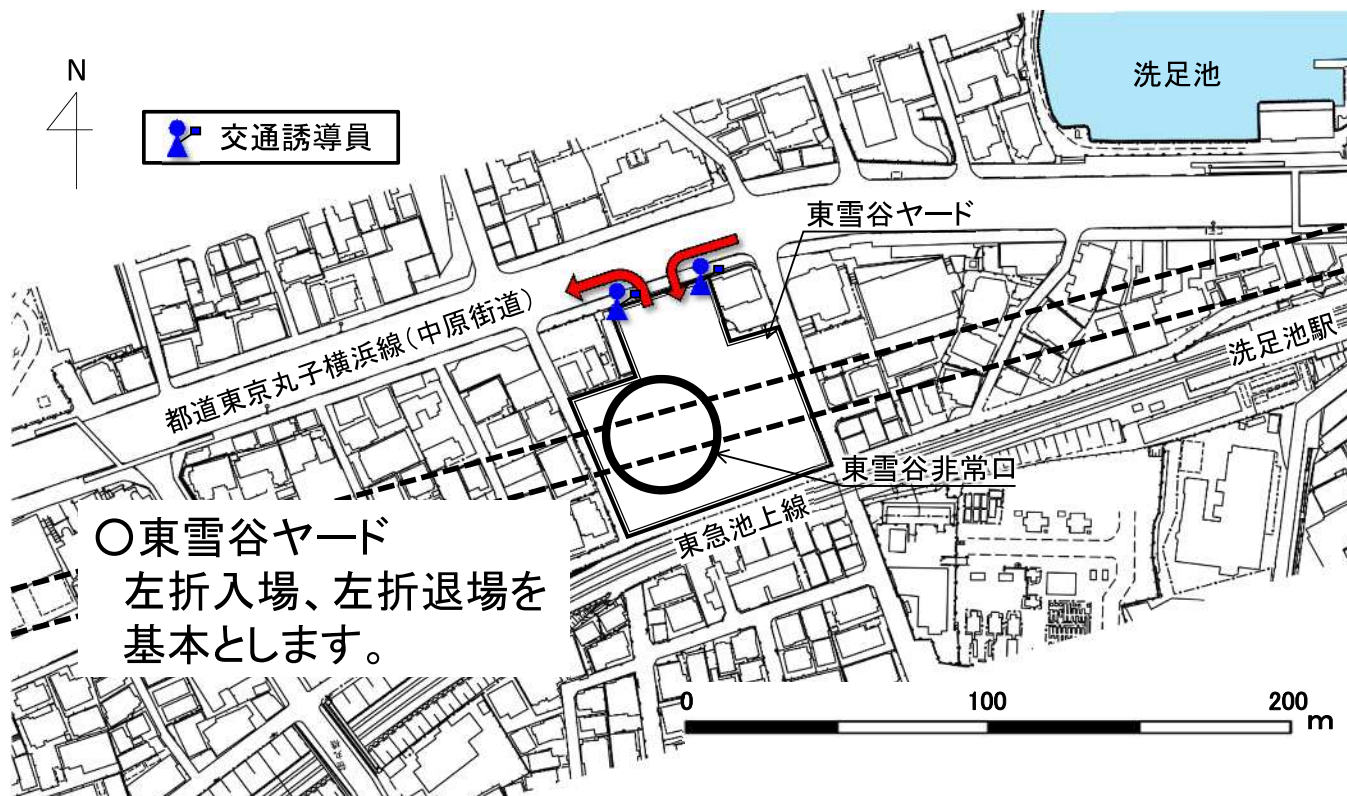
運行する車両台数

- 到達準備及びメンテナンス作業時の1日あたりの平均台数(片道)は、約20台を計画しております。

※ 運行する時間帯や台数については、作業の進捗状況や道路事情等により変更になる場合があります。

52

東雪谷非常口の工事用車両の運行ルート



- ※ 現地の状況等により、入出場方法を変更する場合があります。
- ※ 各ヤードの出入口には交通誘導員を配置します。

工事用車両の運行に関する安全対策

- ① 安全運転の徹底
- ② 安全運転教育
- ③ 工事用車両標識の明示
- ④ 位置情報による発生土運搬車両運行管理
- ⑤ 通学時間帯の通学児童等への配慮



音声による注意喚起のイメージ



発生土運搬車両の運行状況イメージ

1. 中央新幹線の事業概要
2. シールドトンネル工事とは
3. 第一首都圏トンネル(北品川工区)の工事概要
 - (1)計画概要
 - (2)施工手順と施工概要
 - (3)工事工程
4. 工事用車両の運行と安全対策
5. 環境保全措置等
6. 連絡先

環境保全措置(建設機械の稼働)

○ 建設機械の稼働に伴い発生する大気質、騒音、振動の影響を低減するために、以下の取り組みを実施します。

- ・ 排出ガス対策型、低騒音型建設機械の使用
- ・ 工事規模に合わせた建設機械の使用
- ・ 高負荷運転の防止、アイドリングストップ
- ・ 建設機械の点検、整備
- ・ 工事施工ヤード等の清掃、散水
- ・ 工事従事者への講習・指導
- ・ 工事の平準化
- ・ 工事施工ヤードの仮囲い、防音シート等の設置による遮音対策



排出ガス対策型、低騒音型建設機械の使用



工事施工ヤード等の清掃、散水

環境保全措置(工事用車両の運行)

○ 工事用車両の運行に伴い発生する大気質、騒音、振動の影響を低減するために、以下の取り組みを実施します。

- ・ 低公害型の工事用車両の使用
- ・ 工事用車両の点検、整備
- ・ 工事用車両の運行計画の配慮
- ・ 法定速度の順守、エコドライブの徹底
- ・ 荷台への防じんシートの設置
- ・ 工事従事者への講習・指導
- ・ 工事の平準化
- ・ 荷台、工事用車両出入口付近の散水
- ・ タイヤの洗浄



荷台への防じんシートの設置

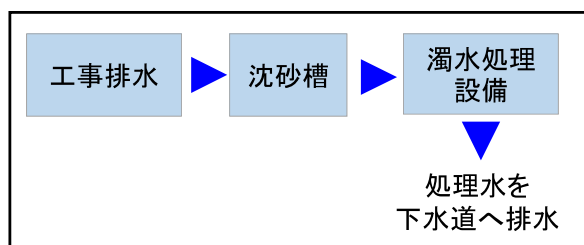


タイヤの洗浄

※類似工事の写真を掲載しています。57

環境保全措置(水質、地下水、水資源)

○ 工事排水は東京都下水道条例に基づいて適切な処理をしたうえで、下水道へ排水します。



工事排水の処理の流れ



濁水処理設備

○ 地下水及び地下水の水質に関する影響を回避、低減するために、以下の環境保全措置を実施します。

<水位>

- ・ 適切な構造及び工法の採用
- ・ 止水性の高い土留壁の設置

<水質>

- ・ 工事排水の適切な処理
- ・ 処理設備の点検・整備による性能維持
- ・ 土砂ピットにおける発生土の適切な管理

環境保全措置(土壌汚染)

○トンネル掘進工事に伴う土壌汚染に関する影響を回避、低減するために、以下の環境保全措置を実施します。

- ・有害物質の有無の確認と汚染土壌の適切な処理
- ・発生土の有効利用事業者への情報提供の徹底
- ・土砂ピットにおける発生土の適切な管理
- ・工事排水の適切な処理

発生土は他の公共事業等に活用する計画としています。
万が一汚染された土壌が確認された場合は、法令に基づき適切に処理します。

59

事後調査・モニタリング

○事業の実施に際し、公害の防止、生活環境の保持等について適切な配慮を行うために、工事中については、以下に示す事後調査及びモニタリングを実施します。

調査項目	調査地点等	調査時期及び頻度
大気質 (NO _x 、SPM、粉じん等)	工事用車両の主要なルートのうち予測値と環境基準等の差が小さい地点や寄与度の高い地点	本格的な掘削時に四季調査
騒音・振動	工事用車両の主要なルート(評価書の予測地点を基本)	本格的な掘削時に1回
土壌汚染	・自然由来の重金属等(カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、ひ素、ふっ素、ほう素) ・酸性化可能性 工事施工ヤード内	発生土の受入先が定める受け入れ基準に応じた時期及び頻度
廃棄物等		工事中に継続的に実施 ^{注1}
温室効果ガス		工事中に継続的に実施 ^{注1}

注1: 事後調査のみ実施

※ 大気質(粉じん等)(工事用車両の主要なルート)については、工事の状況等により別途調査することがあります。

※ 騒音・振動については、モニタリングとは別に施工ヤードで日々簡易計測を行い、その結果も踏まえて影響の低減を図ります。

※ 工事の進捗状況により、調査時期が変更となることがあります。

60

説明内容

1. 中央新幹線の事業概要
2. シールドトンネル工事とは
3. 第一首都圏トンネル(北品川工区)の工事概要
 - (1)計画概要
 - (2)施工手順と施工概要
 - (3)工事工程
4. 工事用車両の運行と安全対策
5. 環境保全措置等
6. 連絡先

61

連絡先

事業者

東海旅客鉄道株式会社
中央新幹線東京工事事務所、環境保全事務所(東京)
住所 港区高輪3-24-16 品川偕成ビル3階
電話 03-6847-3701(東京工事事務所)
03-5462-2781(環境保全事務所(東京))
(受付日時/土・日・祝日・年末年始を除く平日 9時~17時)

施工者

中央新幹線第一首都圏トンネル新設(北品川工区)工事共同企業体
構成員:(株)熊谷組、大豊建設(株)、徳倉建設(株)
住所 品川区大崎1-15-9 光村ビル8階
電話 03-5435-8160
(受付日時/日・祝日・年末年始を除く 9時~17時)

※「24時間工事情報受付ダイヤル」等は準備でき次第、お知らせいたします。

62